

# 教 育 ふくしま

## 特 集

- 地域を担う人材育成のための学習サポート事業
- 特別支援教育元年！  
(学校教育法一部改正)
- 双葉地区教育構想 1 年間の軌跡

2007  
6月号  
No.274  
(隔月発行)

福島県教育委員会 ホームページアドレス <http://www.pref.fks.ed.jp/>

フォト  
ニュース

## 放課後子どもプラン展開中！

### 放課後子ども プランとは？

県教育委員会が行う「放課後子ども教室推進事業（子ども教室）」と県保健福祉部が行う「放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」の総称で、放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する総合的な放課後対策事業です。



▲ しらさわ遊友クラブの活動の様子

本宮市では、旧白沢村の公民館の分館を会場に3か所で子ども教室「しらさわ遊友クラブ」を開催しています。スタッフとして安全管理員や活動指導員と呼ばれる地域の大人の参画を得て、学年の異なる子ども同士での遊びや違う世代の方たちとの交流を楽しんでいます。写真は、父の日のプレゼントづくりをしている様子です。



▲ しらさわ遊友クラブの活動の様子

南会津町の南郷第二小学校区では、南郷ふれあいセ

ンターを会場に子ども教室「たけの山クラブ」を開催しています。子どもたちは、宿題を終わらせたあと思い思いに自由遊びをしたり、クッキング教室や高齢者とのふれあい教室に参加したりして楽しんでいます。スタッフは地域のお母さん方や南会津高校生で、地域の子もたちをあたたく見守り、様々な企画や運営に活躍しています。写真は、高齢者との交流会の様子です。



▲ たけの山クラブの活動の様子

いじめ相談電話「福島いじめ SOS24」  0120-916-024

いじめに悩んでいる子どもたちがいつでも相談できるよう、夜間・休日を含めて24時間体制で電話相談を行っています。

南会津の6つの中学校（檜沢中、荒海中、鎗岩中、伊南中、南郷中、檜枝岐中）で、生徒の学習意欲と学力の向上をねらいとした本モデル事業がスタートして1年が経過しました。へき地小規模校が多く、学習に関する刺激が少ないという南会津地域の特性を踏まえ、子どもたちに全国レベルの刺激を与える中で、学ぶことの意味や目標を持って生きるためのよりどころを持たせたいと考え、6校と民間事業者が様々なアイデアを出し合いながら取り組んできました。



## 4つの取組み

### 1. e-ラーニングによる学習

<ライブ授業>

- 東京スタジオの講師の授業（英語、数学）をインターネットによりリアルタイムで教室に配信し、教室の教員が生徒一人ひとりに対してきめ細かな指導を行う。

<コンピュータ上での問題演習>

- いつでもどこでも何度でも視聴可能で、生徒の主体的学習の支援と学習履歴を活用した個別指導への活用が可能。



ライブ授業の様子

### 2. ゼミ教材の活用

- 民間事業者の教材の活用により、生徒の学習習慣の形成と基礎学力の定着を図る。
- 学校の朝自習・放課後学習及び家庭学習での活用と通信添削により、生徒が主体的に学習しようとする意欲の向上を図る。

### 3. 全体勉強会

- 学習習慣や進路目標形成等に関する講演会及び学習会を開き、授業や学習のアドバイスを行う。
- H18. 8. 2 御蔵入交流館でのパネルディスカッション
- H18. 11. 29 学習方法をテーマに6校をインターネットで結んだテレビ会議を実施
- H19. 2. 26 檜沢中学校を会場に吉村作治教授の講演を6校にライブ配信

### 4. 教職員研修

- e-ラーニングや教材の活用方法、授業の進め方、学習指導方法の研修を行う。
- H18. 8. 23 担当者間の共通理解を図るための民間事業者の施設訪問
- H18. 11. 6・7 英語・数学の担当者部会の実施
- H18. 12. 21 コーチング研修を6校にライブ配信

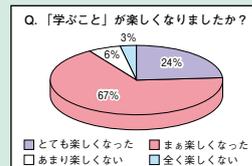


パネルディスカッションの様子

## 6つの成果

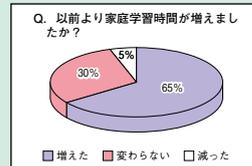
### 1. 学習意欲が高まった

ライブ授業やゼミ教材の活用をとおして、学ぶことが楽しいと感じる生徒が増えました。「他校を意識して勉強するようになった」などの声も聞かれました。



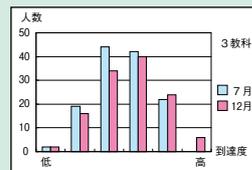
### 2. 家庭学習時間が増加した

学習意欲の向上に伴い家庭学習時間も増加しました。生徒全体の2/3が増えたと答え、さらにその中の1/3は1時間以上増加したと回答しています。



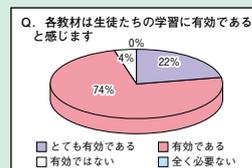
### 3. 成績が向上した

7月と12月に実施したマークテストの結果を比較すると、各学年とも成績が向上しています。（グラフは3年生の主要3教科の到達度）



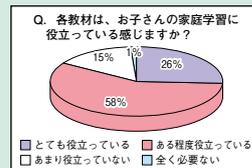
### 4. 教員も指導効果を実感

本事業が学習意欲の向上にプラスになっており、各取組みが学力向上に有効であると教員も感じており、その相乗効果がさらに期待されます。



### 5. 保護者の期待も高まる

「言われなくとも自分から勉強するようになった」「大変ありがたい取組みだと感謝しています」などの御意見をたくさんいただいています。



### 6. 6校が一つに繋がった

語彙コンテストや数学計算コンテストなど、6校が一緒になって取り組むという新たな企画が生まれ、大勢の仲間の中で競い合う場がさらに学習意欲を高めることにつながり、大変盛り上がりました。ポスター▶



## u-Japan ベストプラクティス2007 ライフ部門賞受賞！

総務省が主催する「u-Japan 大賞」において、「地域を担う人材育成のための学習サポート事業」がライフ部門賞を受賞し、6月1日（金）東京・帝国ホテルにおいて表彰式が行われました。



◀ 菅総務大臣から表彰をうける小松教育庁政策監



# 特別支援教育元年！（学校教育法一部改正）

平成19年4月1日より「学校教育法等の一部を改正する法律」が施行されました。文部科学省では平成19年度を「特別支援教育元年」と位置付け、新しい「特別支援教育」をスタートしました。今回の法改正により、幼稚園、小学校、中学校、高等学校においては、学習障がい（LD）、注意欠陥多動性障がい（ADHD）、高機能自閉症等を含む障がいのある児童生徒等に対して適切な教育を行うことが新たに規定されました。本県では、新しい学校教育法のもと、特別支援教育の一層の充実に努めてまいります。

## 新たに追加された項目

小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び幼稚園においては、次の各号のいずれかに該当する児童、生徒及び幼児その他教育上特別の支援を必要とする児童、生徒及び幼児に対し、文部科学大臣の定めるところにより、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うものとする。  
（学校教育法第75条より抜粋）

## 県教育委員会における対応

### ◎ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校では特別支援教育を積極的に推進します。

特別支援学級<sup>※</sup>及び通常の学級の担当を問わず、学校のすべての教職員が、特別の支援を必要とする幼児、児童、生徒の教育に携わります。  
※これまでの「特殊学級」は「特別支援学級」と名称が変わりました。

### ◎ 特別支援学校<sup>※</sup>は、地域の幼稚園、小学校、中学校、高等学校を支援します。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校の求めに応じて、特別支援学校は発達障がい等の子どもたちへの支援に必要な助言や援助を行います。  
※これまでの「盲・聾・養護学校」は、「特別支援学校」と名称が変わりました。

## 新しい特別支援教育の対象

これまでの特別支援教育の対象

### 特別支援学校

視覚障がい  
聴覚障がい  
知的障がい  
肢体不自由  
病弱



### 幼稚園・小学校・中学校・高等学校

#### 特別支援学級

弱視、難聴、知的障がい、肢体不自由、身体虚弱、その他(情緒障がい)

#### 通級指導教室

言語障がい、自閉症、情緒障がい、難聴、LD、ADHD、等

#### 通常の学級

通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等、特別の支援が必要な幼児、児童、生徒



※「通級指導教室」とは、通常の学級に在籍しながら障がいの改善・克服に必要な特別な指導を受けることのできる教育の形態です。

## 特別支援教育で一人ひとりのニーズに応えます！

### A 小学校の実践例

Cくんは、集中をコントロールするのがちょっと苦手な男の子です。朝、教室で飼っているザリガニを見ていて、朝の読書活動にいつも間に合いません。友達から注意されると、Cくんはカッとなくなってしまい、1日中生活が落ち着かないこともしばしばでした。



Cくんが次の活動に移るタイミングを見失っているような時に、学習支援ボランティアの方に、さりげなく声かけをしてもらいました。そして、Cくんが次の活動に時間通り間に合った時には、担任の先生がたくさん褒めてくれました。

**Cくんは、だんだん次の活動の時間に間に合うようになってきました。**

### B 中学校の実践例

「学習内容がなかなか理解できない生徒に“分かる授業”を行いたい」と先生方が考え、生徒一人ひとりがどのように物事を理解していくのか「特別支援教育」の視点を取り入れた授業研究会を行いました。

先生方は、学習の理解が難しい生徒一人ひとりの学習の様子を観察し、生徒一人ひとりの学習スタイルを「個別支援シート」で分析してみました。そして、情報を視覚的にとらえるのが得意な生徒には、図などを使って情報を提示する授業を工夫しました。



**学習の理解が難しかった生徒も、少しずつ学習内容が分かるようになり、授業に集中できるようになりました。**



# ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 福島県立富岡高等学校における取組み ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

昨年の4月に新学科「国際・スポーツ科」となり、新たな富岡高等学校に生まれ変わりました。今年の4月には新体育館と学科棟が完成し、7月には人工芝のグラウンドも完成する予定です。ハード面の充実もさることながら、ソフト面でも他校には見られない夢のある授業や事業を展開しています。



## 国際コミュニケーションコース

今年度は、ニュージーランド（オークランド）に1名、オーストラリアに3名（メルボルン、タスマニア）留学しており、英語だけの生活、自己主張しないと理解してもらえない環境で、挑戦を続けています。また、昨秋のフランス交流事業では、姉妹校であるルイ・バスカン高校で、自分の気持ちを積極的に表現するフランスの高校生の姿に刺激を受けてきました。



留学先の友達と



フランス交流の仲間たち

生徒の声

毎日100個以上単語を調べます。英語ができないと授業が分からないし、友達もできないから悔しいです。でも、少しずつ分かるようになるのが楽しいです。（海外留学生徒より）

「授業では周りの子が助けてくれて、授業をちゃんと受けることができた」「言葉が十分ではなくても、友達と分かり合うことができて嬉しい」（交流事業の参加生徒より）

## 福祉健康コース

高大連携の授業で、「大学の先生の講義を受けることができる！」と生徒たちは興味津々、意欲満々で受講しました。「社会福祉入門」では、東日本国際大学の先生に障がい者・高齢者福祉、学童期における心の問題について、「運動と身体」では福島大学の先生に運動生理やスポーツ栄養、メンタルトレーニングについて講義をしていただきました。



社会福祉入門の授業



新しい介護実習室

生徒の声

社会福祉入門を受講して、集中講義は大変でしたが、「福祉」の meaningを知ることができたと思います。（「社会福祉入門」の受講生徒より）

新しい介護実習室の施設は素晴らしく、充実した実習を行っています。夏には在宅介護実習室で入浴介助の実習もできるので楽しみです。（介護実習を行った生徒より）

## 国際スポーツコース

公認指導資格を取得した本校教諭だけでなく、サッカーはJFAアカデミー福島のコーチ、ゴルフはLPGA公認コーチ、バドミントンは元インドネシアナショナルチームコーチが、1年次は週2時間、2・3年次は週5～8時間、授業において指導しています。また、新体育館にはバドミントン公式試合コートが6面とれ、学科棟にはトレーニングルームと8打席の屋外ゴルフ練習場が整備されました。



スペシャルコーチの授業



屋上ゴルフ練習場

生徒の声

授業ではビデオでトップアスリートの技術分析をしたり、スペシャルコーチの指導を受け充実した時間を過ごしています。（授業に参加している生徒より）

ゴルフの授業時間が増え、1年生と一緒に練習ができるので、共に切磋琢磨しながら力を伸ばしていきたいです。（ゴルフ部の生徒より）

## 平成19年度富岡町教育支援センター桜風寮入寮式が行われました

桜風寮の入寮式が4月9日(月)に富岡高校新体育館で行われました。桜風寮は、平成18年4月に開設され、双葉地区教育構想の大きな役割を担っており、現在、富岡高校と富岡一中の生徒65名が共同生活を送っています。生徒たちは、管理人の荒木御夫妻に支えられながら、『世界の舞台で活躍する』という大きな目標に向かって頑張っています。



入寮式の様子



寮内行事の様子

# 学校自慢コーナー

詳しい内容を福島県教育委員会のホームページに掲載しています。 <http://www.pref.fks.ed.jp/>

## いわき市立高坂小学校

### 楽しみながら英語に親しみ、 コミュニケーション能力を身に付ける

いわき市の英語特区モデル校となり平成17・18年度の2年間研究を進めてきました。小学校の英語は中学校とは違い、取り立てて文字を読んだり書いたりすることや文法の学習はしません。ネイティブの方の発音を聞いて真似たり、ゲームや歌などを通して楽しみながら学んでいます。



ティームティーチングによる英語の授業

## 伊達郡国見町立小坂小学校

### 豊かな人間性・社会性を育てるための 豊かな体験活動を行っています

豊かな人間性・社会性の育成の一環として、通学合宿や浜松市立西気賀小学校との交流事業等の宿泊を伴う体験活動を行っています。昨年の夏には、本校5年生が西気賀小学校を訪問し、カヌー、和船、磯遊びなどの体験を通して友情を深めました。



西気賀小学校との体験交流の様子

## 会津若松市立大戸中学校

### ボランティア活動をとおして 「人間尊重の精神」を学ぶ

ボランティアの心や一人ひとりの命や個性を大切に「人間尊重の精神」を学ぶために、ボランティア活動に力を入れて、年間を通して社会福祉施設訪問や地域の清掃作業などを行っています。毎年夏休みには2年生が施設の夏祭りに参加し、御神輿を担いで練り歩いたり、手作りの風船細工等を子どもたちに配ったりして、来場者の皆さんに喜んでいただいています。



施設の夏祭りで御神輿を担ぐ

## 南会津郡只見町立只見中学校

### 新生 只見中学校の挑戦！ ～新しい学校づくりへの取組み～

本年4月に只見町内3中学校（只見中・朝日中・明和中）を統合し、新生只見中学校として開校しました。140名の生徒と23名の教職員が教育目標「考える生徒」を常に意識し、生活・学習に自分で考えながら主体的に取り組むことができることを目指し、一丸となって新しい学校づくりに取り組んでいます。



旧3校のジャージ姿で仲良く勉強

## 福島県立新地高等学校

### 地域に密着した教育活動の実践

浜通り最北、人口約8,000人の新地町に所在し、地域との深い絆を維持しながら様々な教育活動に取り組んでいます。授業、学校行事、ボランティア活動等を通じ地域住民との交流を盛んに行っており、地域との深い絆が本校教育の根幹の一つとなっています。地域住民からの要望に応えつつ、交流を深めながら、常に地域と共に歩む県立高校でありたいと願っています。



学年設定科目ボランティアの様子

## 福島県立磐城農業高等学校

### 地域に開かれた学校を目指して

食品流通科、園芸科、緑地土木科、生活科学科の4科からなる農業高校です。夏季休業中に施設、設備の見学中心の「中学生一日体験入学」を実施し、例年10月下旬に実施している「レッツトライ」では、さらに興味関心を持った中学生が在校生に交じって授業を体験しています。



在校生と一っしょに授業体験ができる「レッツトライ」

# ～フォトトピックス～

トピックス

1

## 中高一貫教育、はじまる！

平成19年4月9日、本県初の公立の併設型中高一貫教育の中学校である会津学鳳中学校の開校式が会津若松市の會津風雅堂で行われました。オープニングアトラクションの後、会津学鳳中学校校歌ともなる会津学鳳高等学校校歌が披露され、開校への期待が大いに高まりました。

開校式では、野地教育長が式辞を述べ、会津学鳳中学校の真新しい校旗が、教育長から山ノ内会津学鳳中学・高等学校長へ、校長から生徒代表へと手渡されました。その後、中高合同の入学式が行われ、中高の新生代表がそれぞれに学校生活への抱負を力強く述べました。ここに、会津学鳳中高一貫教育校の新しい歴史が始まりました。



校歌披露の様子



新生代表の抱負



開校式の様子



オープニングアトラクション

トピックス

2

## いのち生きいき研究大会が開催されました！



河野氏による基調講演



勿来高校の取組みの様子

平成19年5月24日(木)に県文化センターにおいて「平成19年度いのち生きいき研究大会兼第3回福島県保健主事研究大会」が開催され、河野セクシャリティー医学研究所長の河野美代子氏による基調講演が行われました。

県教育委員会では、子どもたちが生涯にわたって健康で幸せに暮らすことができるよう、学校と家庭と地域とが連携を図りながら性教育を推進しており、「いのちの大切さ」や「人間としての生き方、在り方」について考える取組みを各推進協力校105校（小学校19校、中学校53校、高校30校、特別支援学校3校）において展開しています。



研究大会の様子



大玉村立大玉中学校の取組みの様子

トピックス

3

## 「ふくしま子ども憲章」パンフレットが完成しました！



▲小学生用パンフレット

県内の小中学生が考え、決定した「ふくしま子ども憲章」（平成16年9月15日決定）の一層の普及・啓発を図るとともに子どもたちの豊かな心をはぐくむために、県教育委員会ではパンフレットを作成して県内の公立小中学校の全児童生徒に配付しています。今年度は、活用に重点を置いて、一つ一つの言葉ごとに子どもたちの考えを書き込むことができるように作成しました。学校だけでなく家庭においても御覧いただき、親子の語らいに役立てて欲しいと考えています。子どもたちの豊かな心をはぐくむために、「ふくしま子ども憲章」パンフレットを、是非、御活用願います。



▲中学生用パンフレット

# ～お知らせ～

## ■ 第4回「としょかんまつり-本の森に行こうよ-」 県立図書館

通常入館できない書庫などを御案内する図書館探検、移動図書館あづま号の見学、読書推進のための講演会、ボランティアの方々との御協力による5,000本の花風車が飾る芝生でのステージなど、多くのイベントを行う予定です。皆さまの御来館をお待ちしております。

会期：平成19年7月21日(土) 9:30～20:30  
問い合わせ先：☎ 024-535-3220  
<http://www.library.fks.ed.jp/>



▲ 昨年のとしょかんまつりの様子

## ■ シャガール『死せる魂』展

県立美術館

ロシアの作家ゴーゴリの小説『死せる魂』は、詐欺師と住民の駆け引きを喜劇風に描写した傑作です。この小説を愛読していた画家シャガールは、96点の銅版画による挿絵集を制作しました。今回は全作品を一挙に展示します。

会期：平成19年6月9日(土)～7月1日(日)

問い合わせ先：☎ 024-531-5511  
<http://www.art-museum.fks.ed.jp/>



▲ 「トランプ」

## ■ 「第2回ふくしま絵本大賞原画展」

県立博物館

「ふくしま絵本と子どもの会」が主催する「ふくしま絵本賞」の入選作を中心とした展覧会です。夢あふれ、福島の風土に根ざした絵本の原画を見ると同時に、毎週日曜日午後には楽しい「読み聞かせの会」もあります。入場無料です。

会期：平成19年5月26日(土)～6月24日(日)

問い合わせ先：☎ 0242-28-6000  
<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>



▲ そばのはなし 貼り絵 岩崎たき子

## ● リーフレット「理科の授業の充実のために」を作成しました

子どもの見方や考え方を生かし、知的好奇心を喚起する理科の授業づくりのために大切にしたいことを、理数大好きスクール(理数大好きモデル地域事業)の授業実践を例にまとめました。理科の授業づくりに御活用ください。

問い合わせ先：企画学力向上グループ ☎ 024-521-7762  
<http://www.shiou.fks.ed.jp/>

## ■ 教育センター自主講座の御案内

県教育センター

### 親子サイエンス教室

期日：8月18日(土)、19日(日)

親子がものづくりや自然体験を通して、科学の不思議や素晴らしさを直接体験し、親子の触れ合いの中で、子どもたちの科学に対する興味・関心を高め、科学的な素養を育成します。

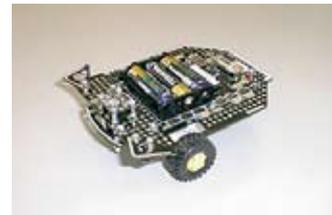


▲ 過去の親子サイエンス教室の様子

### 子どものためのロボットワークショップ

期日：7月21日(土)

中学生を対象としたロボットを制御するプログラミング言語の基礎を学ぶための講座です。専門知識は必要ありません。また、将来ロボカップジュニアなどの競技会に出るためのアドバイスなども行います。



▲ ロボットの写真

募集締切：6月29日(金)

問い合わせ先：教育センター企画・振興チーム  
☎ 024-553-3141

<http://www.center.fks.ed.jp/>

## ● 「朝食欠食率ゼロ週間運動」のお知らせ

県教育委員会では児童生徒及び保護者に対して、食に関する正しい理解と関心を高めるとともに、望ましい食習慣の形成を図ることを目的として、朝食欠食率ゼロ週間運動を実施します。

顕著な取組みにより成果を上げた学校の表彰を予定しています。

期間：第1回

6月19日(火)の食育の日を中心に6月下旬から7月中旬にかけて各学校の任意の1週間に実施します。

第2回

平成19年11月1日(木)～平成19年11月7日(水)  
※ふくしま教育週間にあわせて実施します。

問い合わせ先：健康教育グループ ☎ 024-521-7792  
<http://www.pref.fks.ed.jp/>

家族いっしょに食べよう  
楽しい朝ごはん!



## ● 高校入試の結果について

平成19年度福島県立高等学校入学者選抜の結果がまとまりました。志願者数と合格者数、Ⅱ期選抜の学力検査成績、学力検査各問題のねらいや出題内容、正答率等を公表しています。

問い合わせ先：企画学力向上グループ ☎ 024-521-7762  
<http://www.shidou.fks.ed.jp/>

## 思い出の一冊

『ひまわりの海』 館野 泉著 求龍堂刊

フィンランドに暮らすピアニスト館野泉さんのエッセイ集で、自ら撮影した写真もふんだんに盛り込まれています。文章も堅苦しくなく、館野さんらしい穏やかで温かい語り口で綴られています。クラシックに身を置きながらジャンルにこだわらない音楽を追求する姿勢は、とかく偏りがちな音楽志向への大きな警鐘に思えました。後半には左手のピアニストとして再起する顛末が記されており、家族の愛情に支えられて再び音楽に触れる喜びに到達します。読後には、館野さんの演奏をCD やさらには生で聴きたくなること請け合いです。ちなみに館野さんは南相馬市民文化会館の名誉館長に就かれています。

南相馬市博物館長 大友 弘道

